



学校だよい「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成29年5月19日発行 No.7

文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



見応えあいです～感動を与える運動会～

運動会の全体練習でのことです。

一人一人が例外なく真剣に練習に取り組んでいます。無駄話などありません。注意し合い教え合う姿がそこかしこに見られます。疲れが出る練習後半にも、リングバトンやフラッグを精一杯の力で演技する姿が見られます。練習の段階ですが、そうした姿に感動を覚えます。

明日は、子ども達が全力で走る姿、真剣に精一杯の演技をする姿、自分の役割を果たすべく係活動に取り組む姿、チームの勝利のために心を一つに競技する姿など、皆様に、もくひょうを持ってはっぴょうする子ども達を見ていただきたいと思います。必ず皆様に感動させる見応えのある運動会になると確信しています。

皆様からの声援や拍手が、子ども達の喜びや充実感を高め、それが自信となり成長の足がかりとなります。たくさんの励ましをどうぞよろしくお願いいたします。



ヘルメットリユースのご協力 ～ヘルメット着用 100%～



ヘルメットリユースのご協力をいただきました。資源の無駄をなくすとともに、物を大切に使う精神を育みます。

本校のリユースの第一の目的は、子どもの命を守ることですが、先に述べた効果もあります。

リユースできるヘルメットがありましたら、どうぞご協力をお願いします。

「あ・は・も」の発表の力が身に付いた姿 ～ノー原稿の成果～

クリーン作戦（地域のゴミ拾い）の開会式でのことです。

Aくんは、開会式のはじめの言葉を、「かがやく塩川町にしましょう。」という言葉を加えて行いました。終わりの言葉では、Mくんが、「塩川町をきれいな気持ちよいまちにしましょう。」という言葉を加えて行いました。二人に聞くと、アドリブだと答えました。

塩川小は、発表は、ノー原稿で行っています。そのよさは、活動の目的や雰囲気をとらえ、自らその場にふさわしいことばを考え、吟味し判断して発表できるところにあります。

応援合戦の練習中にも、「憶えるより言いたいことをはっきりと持ちなさい。」とE教諭が指導していました。

発表は、まさに思考し判断した結果として表現されるものなのです。



クリーン作戦の目的をふまえ、何を伝えたらよいのかを思考・判断して発表しました。

ちょっといい話



築山がきれいに除草されました。運動会に向けた環境整備もバッチリです。

清掃前には、班長と班員数名が対面して廊下に整列します。校長室前には、職員玄関掃除の班が整列していました。私と小関主査も班長の両隣に整列し、清掃開始を待っていたことです。6年生の班長さんが私や小関主査に気づき、私たちの背中側を通って移動しました。我々は、同時に「たいしたもんですねえ。」

と、彼の礼儀正しさに感心させられました。